

NO. 10 事 業 名 森林基幹道開設事業（国補）
箇所・地区名 すげのもりさと
菅野盛里線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) **国補**・県単

事業名	森林基幹道開設事業（国補）			箇所・地区名	菅野盛里線		所在地	都留市大野 都留市朝日曾雌	事業主体	山梨県																													
当初	計画期間	S62～H20	変更後	計画期間	S62～H27	—		⑤再評価時の評価状況〔見直し継続〕 コスト縮減のための状況に応じた規格・構造の見直しを行った上、継続して事業を実施されたい。（H15再評価時）																															
総事業費	7,000 百万円		総事業費	—	—																																		
(1) 事業の概要																																							
<p>①事業目的及び効果 本路線は、都留市大野と、都留市朝日曾雌を結ぶ連絡林道であり、路網密度の低い菜畑山北面の大旅川・戸沢川・菅野川流域の広大な森林を管理経営する森林基幹道である。 利用区域1,539haのうちスギ、ヒノキ等の人工林は約65%あり、これらの森林を適正に管理し、資源を循環利用する木材生産に加え、国土保全、水源かん養、保健休養等の森林の多面的機能を発揮させるための基盤となる骨格的な林道である。 また、県道都留道志線と県道四日市場上野原線を連絡することにより広域的な交通の利便性の向上や、山村の地域振興、活性化に寄与する。</p>																																							
②事業概要																																							
<p>森林基幹道 計画延長 20, 400m 幅員 5. 0m 利用区域面積 1, 539ha 森林資源蓄積量 94, 604m³</p>																																							
③全体計画																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度以前</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度以降</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(m)</td> <td>12,909</td> <td>1,400</td> <td>6,091</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>4,554</td> <td>265</td> <td>2,181</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降							延長(m)	12,909	1,400	6,091							事業費(百万円)	4,554	265	2,181						
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																																				
延長(m)	12,909	1,400	6,091																																				
事業費(百万円)	4,554	265	2,181																																				
④特記事項																																							
<p>なし。</p>																																							
⑤再評価時の評価状況〔見直し継続〕 コスト縮減のための状況に応じた規格・構造の見直しを行った上、継続して事業を実施されたい。（H15再評価時）																																							
<p>⑥その他 なし。</p>																																							
(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																																							
<p>①地域・住民の意向状況 近年、森林に対して、木材の生産や国土の保全、水源のかん養はもとより、自然とのふれあい、教育の場としての機能発揮も期待され、都留市の豊かな森林を活用した地域振興に当林道整備は不可欠であると要望されている。 （都留市長から文書による意見聴取 H20.5.12）</p>																																							
<p>②産業・経済情勢 平成9年に県産材流通の拠点として「甲斐東部木材団地」が隣接する大月市に設置され、間伐材の有効利用等が促進されており、森林整備の推進、県産材需要拡大のため、この地域の林道整備を促進することが必要である。</p>																																							
<p>③国等の方針変更 なし。</p>																																							
<p>④上位計画・関連事業計画等の変更 • 山梨県林道網整備計画（平成17年3月） • 県有林管理計画（平成18～27年度） • 山梨東部地域森林計画（平成11～20年度）</p>																																							
<p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p>																																							
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																																							
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C 未算出 再評価時計画における事業全体B/C 未算出 再々評価時計画における事業全体B/C 1. 08 再々々評価時計画における事業全体B/C 1. 25 <p>11,041,802千円（効果額）÷ 8,836,815千円（費用計）= 1.25 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。 事業採択基準値 1.00 以上</p>																																							

2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]									⑤今後の事業執行上の問題点 なし。																																																
①計画変更等の概要 施工箇所の地形が急峻で、また地質も脆弱な区間があり、計画どおりの事業進捗とならなかつたため、平成14年度に計画期間の延長を行つた。									⑥今後の事業の進捗の見込み 今後も計画どおり事業の進捗が図れる見込みである。																																																
②施工済みの事業内容 全体計画のとおり									⑦事業計画の変更の見込み・可能性 なし。																																																
③進捗率 (整備済計 14,309m / 全体 20,400m)									(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性] 地形に合った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては路肩の縮減を行うなど、総合的なコスト縮減に努める。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>H15*</th><th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td><td>49</td><td>53</td><td>57</td><td>61</td><td>66</td><td>70</td><td>74</td><td>79</td><td>83</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>49</td><td>51</td><td>54</td><td>58</td><td>63</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>算出方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td><td>87</td><td>91</td><td>96</td><td>100</td><td>経過年数／計画年数×100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>実施済延長／計画延長×100 (H20は見込み)</td></tr> </tbody> </table> <p>*再々評価実施年度</p>										H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	計画	49	53	57	61	66	70	74	79	83	実績	49	51	54	58	63	70	—	—	—		H24	H25	H26	H27	算出方法	計画	87	91	96	100	経過年数／計画年数×100	実績	—	—	—	—	実施済延長／計画延長×100 (H20は見込み)	(6) 評価項目 [代替案立案の可能性] 事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																																
計画	49	53	57	61	66	70	74	79	83																																																
実績	49	51	54	58	63	70	—	—	—																																																
	H24	H25	H26	H27	算出方法																																																				
計画	87	91	96	100	経過年数／計画年数×100																																																				
実績	—	—	—	—	実施済延長／計画延長×100 (H20は見込み)																																																				
④事業の進捗が順調でない理由 なし。									(7) 所管部の今後の方針 (継続)・見直し継続・その他() 計画どおりの進捗となっていることから、今後もコスト縮減に努めながら事業を継続する。																																																

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線における森林整備の状況



林道先線の要整備森林の状況